

---

# 灰色の世界

羽雪

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

灰色の世界

### 【Nコード】

N9381F

### 【作者名】

羽雪

### 【あらすじ】

中学一年生の女の子、天宮栞は転校を境に自分のもつとも怖れている「人に嫌われる」「汚い言葉で罵られる」ことをされる。そこから栞はどう生きていくのか。それとも自ら死を選ぶのか。実際の体験を元にした“私の選ばなかった物語”。



けて一週間ぐらいたった頃に。

私は幼少期からの癖でいつものように愛想笑いをしてしまう自分に苛立ちながら毎日を過ごしていた。嫌われたくない。

その感情が人一倍私は強かったと思う。いや、強かった。

母子家庭で育ったのだが母親が厳しく、小さいときから私が何か失敗すると殴ったり蹴ったり外に出して鍵を閉めたりしていた。

愛されていたはずだ。だって、私が何もしなければ母は優しくかったのだから。

でも、私は頭を撫でられたことや抱き締められたことなんて数えられるほどしか記憶に無い。

母は本当に私のことを好きだっただろうか？そんな考えが今でも頭によぎる。

お前は嫌われている。そう誰かが頭の中で叫んでいる気がする。

そして私は嫌われ、白い目で睨まれ、殴る蹴るなどの暴行をされ、汚い言葉で罵られるのが怖くなった。

好かれたかったから笑って、その人が好きそうな会話をふり、必死にいい人をしていた。

でも、

「死ね」

擦れ違いざまにかけられる言葉。日常茶飯事な出来事。

結果がこれだ。

どういう経緯でこうなったのかはよく覚えていないけれど、私は何もしていない。

『転校』『音楽の授業をサボる』……そんなことはあったけれど、少なくともあいつらには何もしていない。

なのに理不尽にもかけられる言葉。

怖い。

敵意を向けられた恐怖を私はその時初めて知った。

そんな毎日を私、  
天宮 栞はすごしていた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9381f/>

---

灰色の世界

2010年11月18日14時31分発行